協議資料１－１

令和６年度の袋井市地域公共交通計画の進捗状況及び数値目標の評価について

令和３年３月に策定し、令和６年６月に一部改訂した「袋井市地域公共交通計画」に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業の取り組みについて、事業の評価・検証を実施します。

１　令和６年度の主な取組内容

（１）自主運行バスの運行の見直し

令和７年度からの２年間の運行に向けて、地域や利用者等の意見を踏まえたうえで、運賃改定（値上げ）及び、南部循環線の運行経路と運行時刻の見直しを実施した。

南部循環線は、デマンドタクシー法多線と重複している運行経路を廃止し、新たに商業施設が隣接する経路としたほか、経路上の住宅地近くに停留所を追加した。

また、「53左回り」の終点を「袋井駅」から「ノブレスパルク袋井」に変更（延長）するとともに、「53左回り」にも柏木経由の便を導入した。

運賃は、１乗車100円を、１乗車200円に変更。

なお、変更内容について市ＨＰ及び「広報ふくろい」で周知するとともに、特に見直しの対象となった沿線地域には、班内回覧による広報を行った。

【参考資料…自主運行バスマップ・時刻表、参考資料１表面、参考資料２・３】

（２）デマンドタクシーの運行の見直し

令和７年度からの運行に向けて、地域や利用者等の意見を踏まえたうえで、運賃改定（値上げ）及び、法多線の運行見直しを実施した。

法多線は、バス停ごとの時刻表を廃止して共通の運行時刻を導入し、全ての停留所で乗降ができるよう変更した。

また、浅羽南地区と浅羽西地区の目的地に、地域交流の機会促進や健康増進を期待し、「うみてらすＤＯＲＩ（浅羽体育センター）」を追加した。

運賃は、１乗車あたり100円（※身体障害者手帳等所持者は、１乗車あたり50円）を値上げした。

なお、変更内容について市ＨＰ及び「広報ふくろい」で周知するとともに、特に見直しの対象となった法多線の対象地区には、班内回覧による広報を行った。

【参考資料…デマンドタクシーチラシ４種、参考資料１裏面】

（３）中東遠総合医療センター線の運行の見直し

令和７年度からの運行見直しに向けて、利用実績をもとに、袋井高校や中東遠総合医療センター、利用者や地域の意見を聴取した。

運行便数を、１日往復各12便から１日往復各８便に変更することとした。

（４）計画事業一覧に基づく取組

1-②　基幹バス路線の維持・改善

◆　**キャッシュレス決済の導入**

秋葉バスでは、バス車内でのキャッシュレス決済（コード決済）を導入し、利便性向上を図った。

また、沿線地域にチラシのポスティングを実施し、利用促進を図った。

＜実施主体：バス事業者＞　【参考資料…利用促進チラシ】

1-③　市内高校への通学路線の確保・維持
7-①　通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施

◆　**市内高校体験入学におけるチラシ配布**

市内高校（袋井高校、袋井商業高校）において、中学生の一日体験入学を実施した際に、路線バスの通学利用を案内するチラシを作成し、配布した。

＜実施主体：市、バス事業者、高校＞

2-①　地域主体の移動手段の確保

◆　**袋井東地区において「こすもすタクシー」の本格運行を開始**

◆　**浅羽南地区において勉強会を実施**

浅羽南地域福祉研修会（地区内の自治会長や福祉関係者が出席）において、市内公共交通や浅羽南地区で利用できる移動手段についての勉強会を実施。外出支援を含めた既存の移動手段を整理し、周知と活用を進めることとなった。

5-①　バス停におけるサイクル&バスライド駐輪場の整備

◆　**市内の公共施設・商業施設への協力依頼**

市内バス路線沿線の公共施設、商業施設に、バス利用者への施設駐輪場開放について協力を依頼。市内７施設から承諾を得られた。

7-②　大人のバス乗り方教室の開催
8-①　運転士の人材確保

◆　**市内イベントへの出展**

市内イベント「ふれあい夢市場」（令和６年 11 月開催）において、秋葉バス車両及び市自主運行バス車両を展示した。運転士も参加し、来場者からのご質問に答える等の対応を行った。　＜実施主体：バス事業者、市＞

・展示物　バス車両、運転士募集に関するポスター、子供向けの運転士制服

・配布物　路線図・時刻表、バス乗り方チラシ、運転士募集チラシ、啓発グッズ、ぬり絵、ペーパークラフト

◆　**今井地区で自主運行バス乗車体験会を開催**

今井コミュニティセンターが、管内住民を対象に乗車体験会を主催。地域内の停留所からイオン袋井店へのお買い物での利用を想定した時間帯で参加者を募った。当日はガイド役の職員が同乗し、自主運行バスの乗り方を案内した。

＜実施主体：市＞

◆　**「広報ふくろい」等への記事掲載**

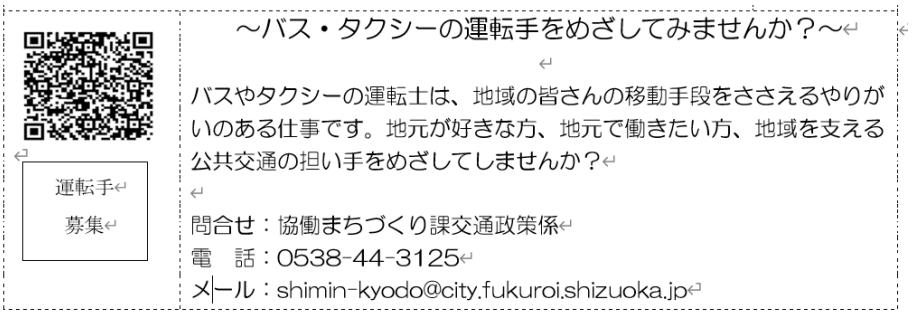
公共交通の運転士という仕事について、市民に広く興味を持ってもらえるよう、次のとおり記事掲載等を実施した。

＜実施主体：市、バス・タクシー事業者＞

・　「広報ふくろい」へのお知らせ掲載（５月）及び、市役所１階の行政情報放映モニターでの放映（５月、12 月）を実施した。

・　「はたちの集い」記念誌送付対象者への市事業お知らせチラシに、記事と市ＨＰへ誘導するＱＲコードを掲載した。（令和７年３月）

（チラシ記事→）



その他

◆　**自主運行バスマップへの情報追加など**

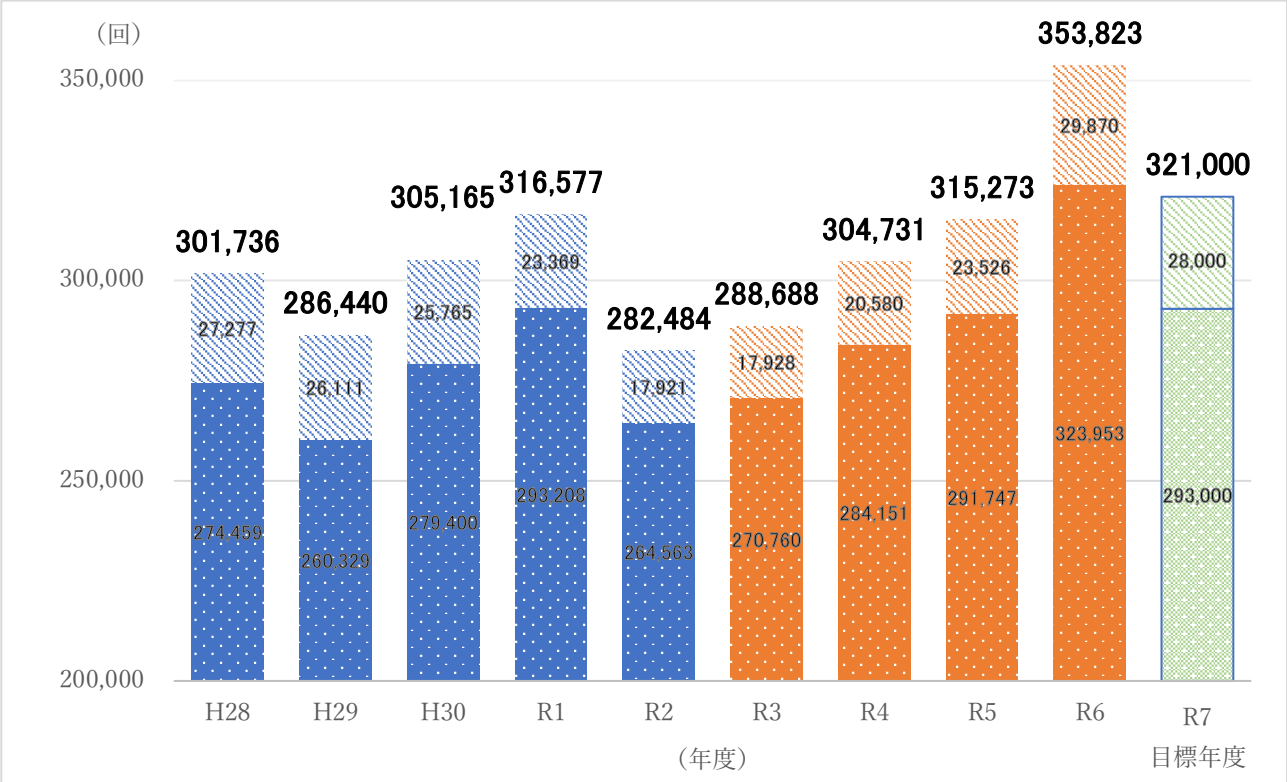
よりわかりやすく、使いやすいことを目指し、令和７年度用マップから次のとおり変更。

・　マップと時刻表を一体化（Ａ４三つ折り版）
・　マップ上の停留所名にふりがなを表示
・　片側バス停に関する情報を掲載
・　外出支援サービスに関する情報を掲載
・　シートベルト着用のお願いを掲載

【参考資料…自主運行バスマップ・時刻表】

２　数値目標の評価

評価指標１：路線バス等の年間利用回数



※上段：自主運行バス等（自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バス）
　下段：路線バス（秋葉バスサービス(株)が運行する路線）

（１）達成状況・分析

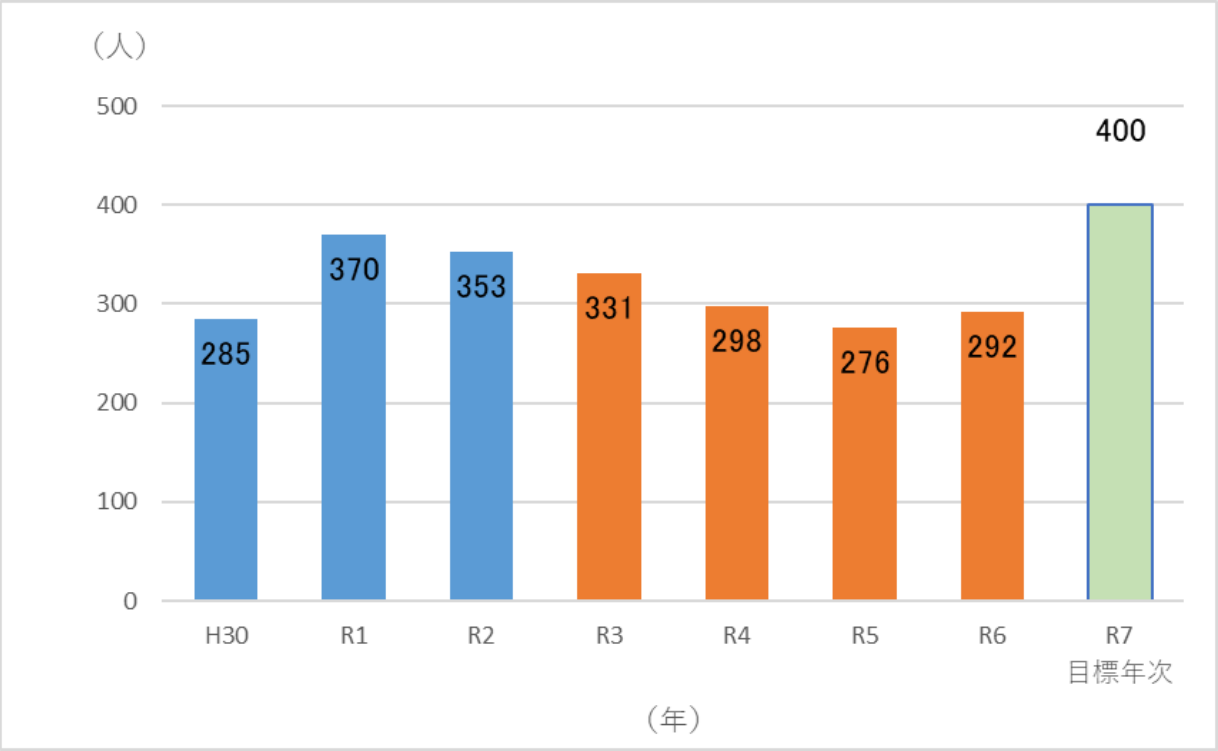
袋井駅・中東遠総合医療センター線の路線改変による高校の通学利用も定着してきており、令和５年度にコロナ禍が明け、外出機会が増加傾向にある影響か、令和６年度の利用回数は令和５年度と比較して 12.2%増と、大きく増加した。

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

袋井駅南の商業施設を始め、沿線施設（商業施設、医療機関、公共施設）の新規利用者の取り込みのため、更なる PR 活動や周知方法の改善を実施する。

自主運行バスは令和７年４月からの運賃改定と南部循環線の路線見直しを実施しているため、今後、利用状況を注視しながら、新規利用者取り込みに向けて必要な広報や利用案内を実施していく。

評価指標２－１：運転免許証の自主返納者数（65 歳以上）



（１）達成状況・分析

返納者数が大きく上昇した令和元年度からは減少傾向となっている中、令和６年度実績は、前年度と比較して 5.8%増加した。

一方、市内の 65 歳以上人口（令和６年 12 月１日時点）は前年比約 0.8%の増であり、65 歳以上人口に占める自主返納者の割合は、令和５年は 1.23%、令和６年は 1.29%と微増した。

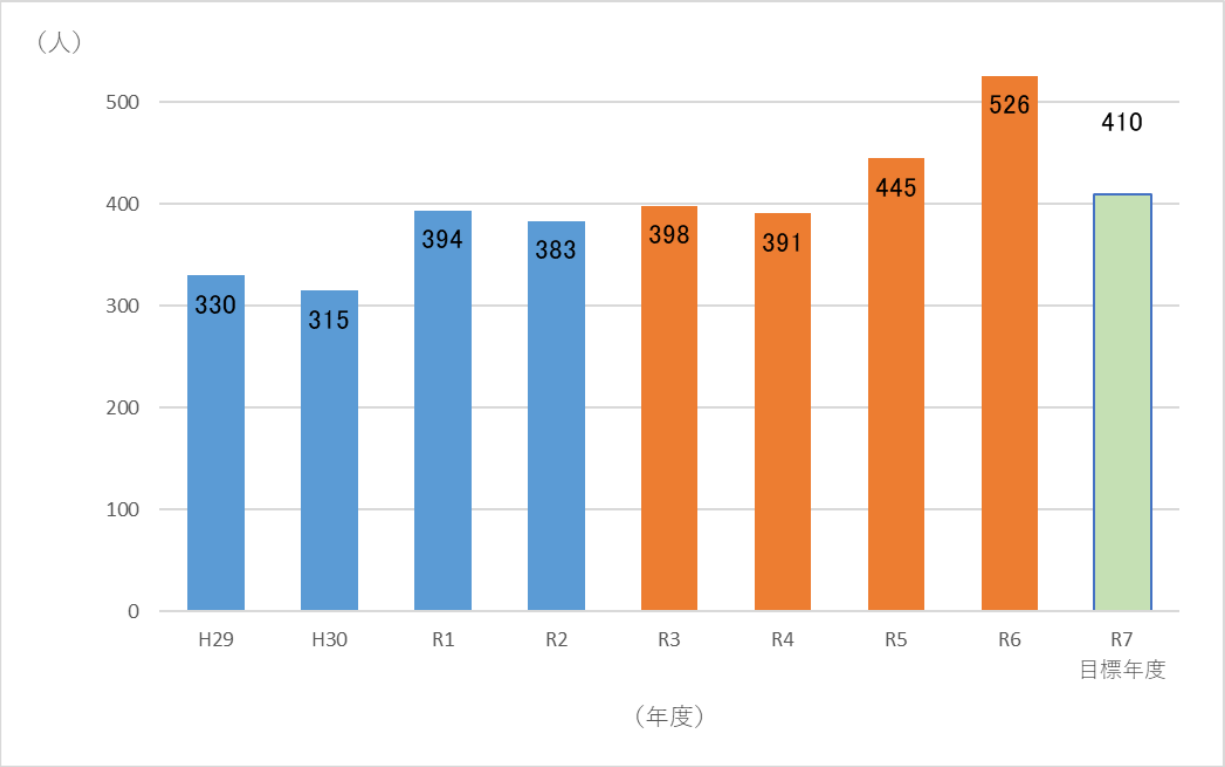
令和５年度からラッピング車両による運行を開始した自主運行バスを始め、各運行主体や地域による利用啓発などにより、市内の公共交通に目を向け、自主返納や返納後の生活を自分事として考える機会が増加していると推測する。

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

令和４年５月から、特定の方への運転技能検査の義務化など、高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、その内容を周知するとともに、公共交通に関して、より分かりやすい情報提供を行い、引き続き免許証の返納の促進を図る。

また、警察署と連携した取り組みを模索する。

評価指標２－２：路線バスの通学定期券の利用人数



（１）達成状況・分析

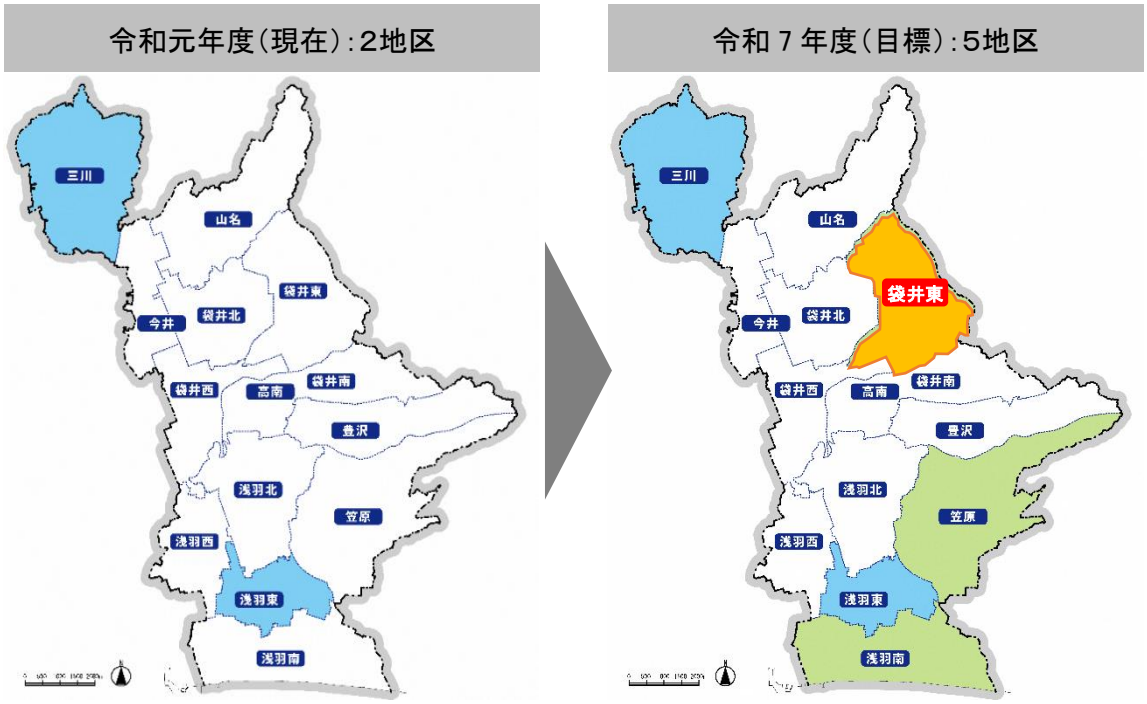
路線バスの利用者数自体が大きく増加しており、通学定期券の利用人数は、昨年度と比較し 18%増加した。

（※　ただし、R5 年 10 月から利用開始したスマホ定期の集計方法が紙定期と異なる（紙定期との重複あり、利用者の年齢情報なし）ため、数字は上向きとなる）

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けのＰＲ活動も併せて実施していく。

評価指標３：地域主体による移動手段の運行地区数



（１）達成状況・分析

令和６年度は、袋井東地区において地域タクシーの本格運行を開始したが、その他の地区での試験運行などは無く、運行地区数は３地区とした。

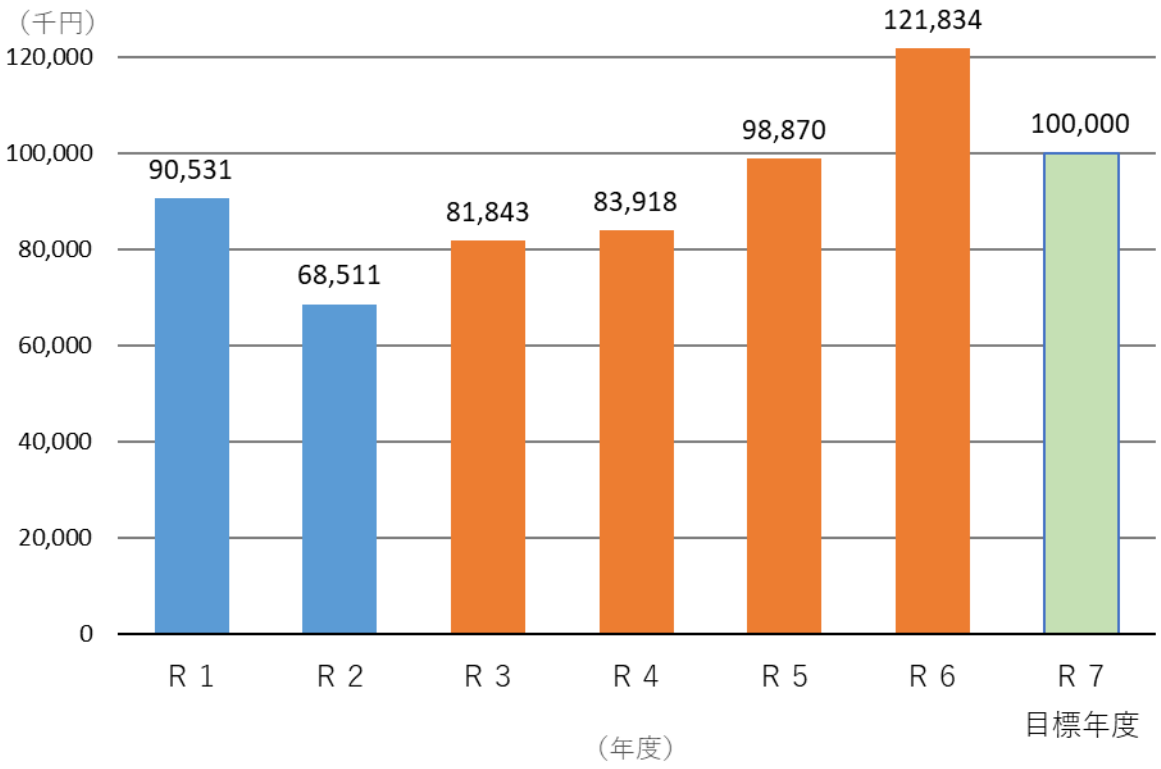
（２）評価・次年度に向けた課題や取組

袋井東地区において、地域タクシーの本格運行を開始した。

笠原地区においては、令和５年度試験運行の結果、地域タクシーの継続は困難となった。地域と協議し、別の形での移動手段の検討を継続していく。

浅羽南地区においては、令和６年度に地区で勉強会を開催。外出支援を含めた既存の移動手段を整理し、周知と活用を進めることとなっている。

評価指標４－１：公共交通に係る市の財政負担額



（１）達成状況・分析

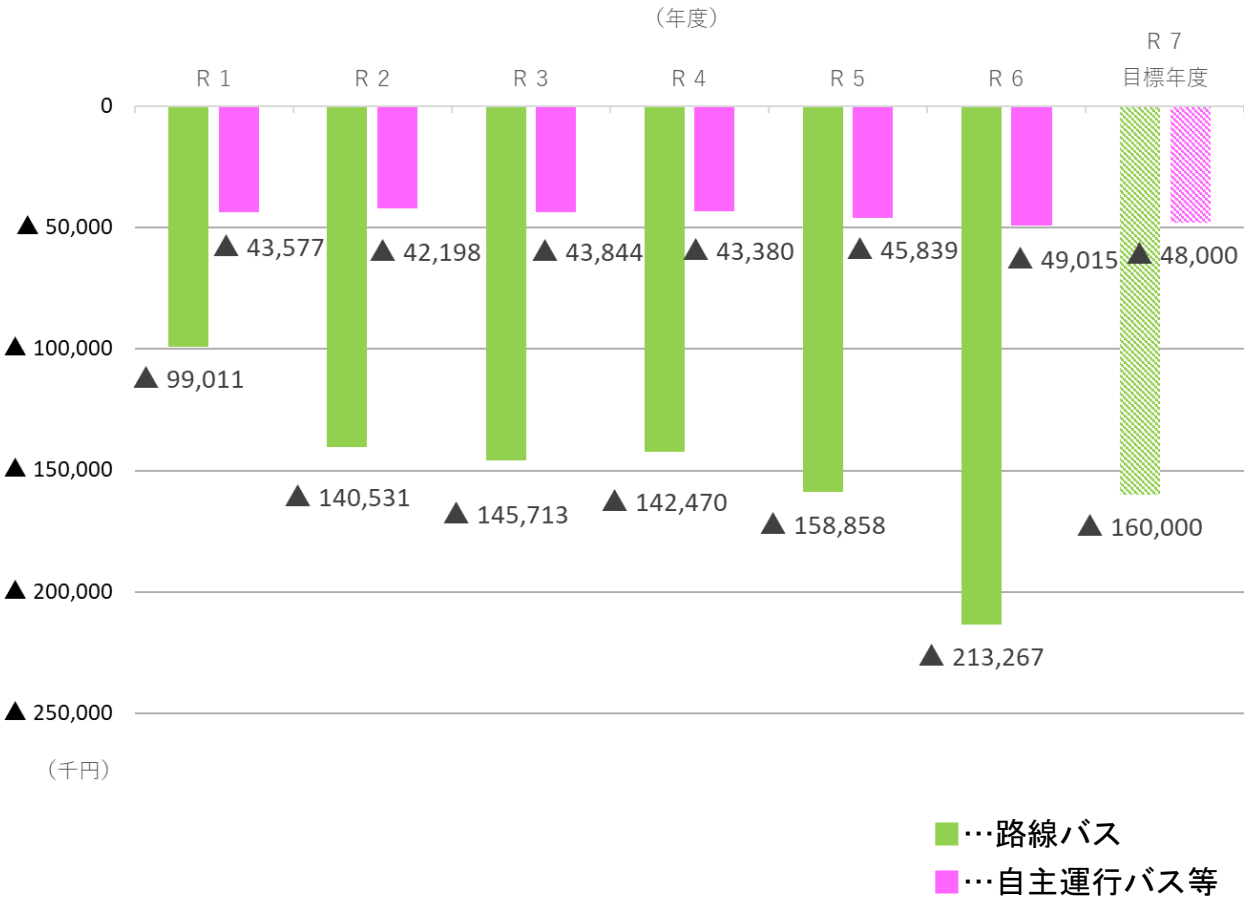
市の財政負担額は、昨年度と比較して約 23%増加した。燃料費を始めとした物価高騰や運転士確保のための処遇改善に伴う経費増加が主な要因と考える。

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

近年の物価高騰等の状況から、財政負担の増加について、一定の理解は得られると考える。ガソリン価格や物価の上昇のペースは落ち着きを見せているため、今後の状況を注視していく。

また、今後、路線維持における財政負担の考え方について整理するとともに、計画に基づいた取り組みを実施し、路線バスの利用者増加や、デマンドタクシーの乗合率向上等に繋げる他、「袋井駅・中東遠総合医療センター線」及び「磐田線」については運賃改定を検討する。

評価指標４－２：市内路線バス等の収支差



（１）達成状況・分析

昨年度と比較し、収支差（欠損額）は路線バスで約 34%。自主運行バス等で約７%増加した。利用者の増加により運賃収入が増加したものの、燃料費を始めとした物価高騰や、運転士確保のための処遇改善による経費増加が大きかったことが主な要因と考える。

（２）評価・次年度に向けた課題や取組

近年の物価高騰等の状況から、収支差の増加について、一定の理解は得られると考える。しかし、収支差の増加は、市の財政負担額の増加に繋がることから、今後、計画に基づいた取り組みを実施し、路線バスの利用者増加や、デマンドタクシーの乗合率向上等に繋げる他、「袋井駅・中東遠総合医療センター線」及び「磐田線」については運賃改定を検討する。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

袋井市地域公共交通計画の評価等結果（令和６年４月～令和７年３月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
【評価指標１】 路線バス等の年間利用回数：316,577回/年（令和元年度実績） **→321,000回/年**（令和７年度目標）	計画に位置付ける各種事業の実施	交通事業者や市が有する年間の公共交通利用回数を集計する	・353,564回/年（令和６年度） ・路線改変による高校の通学利用も定着してきており、令和５年度にコロナ禍が明け、外出機会が増加傾向にある影響か、利用者数は大きく増加した。 （令和５年度：315,070回/年）	・袋井駅南の商業施設を始め、沿線施設（商業施設、医療機関、公共施設）の規利用者の取り込みのため、更なるPR活動や周知方法の改善を実施する。 ・自主運行バスは令和７年４月から南部循環線の路線見直しを実施。利用状況を注視しながら、新規利用者取り込みに向けて必要な広報や利用案内を実施していく。	
【評価指標2-1】 運転免許証の自主返納者数：353人（令和２年実績） **→400人**（令和７年目標）	高齢運転者が安心して運転免許証を自主返納できる交通環境の整備	袋井警察署が有する年間の運転免許返納者数を集計する	・292人/年（令和６年） ・令和元年度以降に減少傾向となっている中、前年度と比較して増加。公共交通の利用啓発等により、自主返納を考える機会が増加していると考えられる。 （令和５年度：276人/年）	・令和４年５月からに高齢者の運転免許更新が厳格化されたことも踏まえ、その内容を周知するとともに、公共交通に関して、より分かりやすい情報提供を行い、引き続き免許証の返納の促進を図る。また、警察署と連携した取り組みを検討する。	年単位（１月～12月）の期間で算出
【評価指標2-2】 路線バスの通学定期券の利用人数：394人（令和元年度実績） **→410人**（令和７年度目標）	高校生が通学手段として公共交通を選択できるためのサービス提供	交通事業者が有する年間の通学定期券購入者数を集計する	・526人（令和６年度） ・路線全体の利用者数が増加しており、通学定期券の利用人数も昨年度と比較し増加した。 （令和５年度：445人）	・高校や近隣市町と連携した周知を行うとともに、進学を控えた中学生向けへのPR活動も併せて実施していく。	
【評価指標３】 地域主体による移動手段の運行地区数：２地区（令和元年度実績） **→５地区**（令和７年度目標）	公共交通に対する市民の意識を高め、地域ごとに地域主体の移動手段を導入	運行地区数を集計する	・３地区（令和６年度） ・袋井東地区において、地域タクシーの本格運行を開始した。笠原地区は検討継続。浅羽南地区は既存の移動手段を活用。 （令和５年度：４地区）	・笠原地区において、地域に合った移動手段の検討を継続する。	
【評価指標4-1】 公共交通に係る市の財政負担額：83,918円（令和４年度実績） **→100,000千円**（令和７年度目標）	計画に位置付ける各種事業の実施の他、運行内容の見直し等による経費節減や運賃改定	市の財政負担額を集計する	・121,834千円（令和６年度） ・物価高騰や運転士確保のための処遇改善に伴う経費増加の影響が大きい。	・路線維持における財政負担の考え方について整理する。 ・計画に基づいた取り組みを実施し、利用者増加や乗合率向上等に繋げる。 ・令和６年度中に運賃改定の検討をしていない路線は運賃改定を検討する。	
【評価指標4-2】 市内路線バス等の収支差：路線バス△142,470千円、自主運行バス△43,380千円（令和４年度実績） **→路線バス△160,000千円、自主運行バス等△48,000千円**（令和７年度目標）	計画に位置付ける各種事業の実施の他、運行内容の見直し等による経費節減や運賃改定	路線バスと自主運行バスの収支差を集計する	・路線バスの欠損額213,267千円（令和６年度） ・自主運行バス等の欠損額49,015千円（令和６年度） ・物価高騰や運転士確保のための処遇改善に伴う経費増加の影響が大きい。	・計画に基づいた取り組みを実施し、利用者増加や乗合率向上等に繋げる。 ・令和６年度中に運賃改定の検討をしていない路線は運賃改定を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

計画事業一覧と進捗状況

協議資料１－２

区分		事業名		事業概要	実施主体	目標1 市民に日常から認識してもらえる公共交通	目標2 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通	目標3 地域で支え合う公共交通	令和6年度までの取り組み	進捗	自己評価
運行のレベルアップ	1 基幹路線の質の向上	1-①	鉄道の維持	・鉄道の運行	鉄道事業者	●	●		・継続実施	継続中	事業概要どおり運行を継続できている。
		1-②	基幹バス路線の維持・改善	・通学・通勤手段として基幹バス路線（秋葉線・秋葉中遠線）の維持・改善（系統・経由地・バス停位置改善等）	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●		・危険なバス停の安全対策実施 ・袋井駅・中東遠総合医療センター線のバス停追加 ・系統の見直し、バス停名称の統一 ・キャッシュレス決済の導入	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
		1-③	市内高校への通学路線の確保・維持	・市内高校へのバス路線の確保・維持・魅力化	バス事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●		・市内高校体験入学でのチラシ配布 ・袋井駅・中東遠総合医療センター線の経路変更、バス停追加 ・バス停周辺への照明設置	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
	2 地域の移動手段の確立	2-①	地域主体の移動手段の確保	・地域主体の新たな移動手段の導入実験・運行 ・地域の移動手段を考える会の設立・支援	市民（自治会等）/タクシー等交通事業者/地域公共交通会議/袋井市		●	●	・地域タクシーの導入に向けた試験運行実施（袋井東地区）、地域タクシーの試験運行実施（笠原地区） ・地域タクシーの本格運行開始（袋井東地区） ・移動手段に関する勉強会を実施（浅羽南地区）	継続中	１地区で本格運行を開始できた。 他地区でも検討を継続している。
		2-②	持続可能な地域協働運行バスの構築	・持続可能な運行方法の検討・移行	地域協働運行バス運営委員会/袋井市		●	●	・運行体制の見直し、地区別説明会の実施（三川地区）	継続中	運行方法、運転手確保などについて、地域で工夫し、検討を継続している。
サービスのレベルアップ	3 お得な運賃制度	3-①	運賃割引制度の導入	・基幹バス路線等における運賃割引制度の実証実験	バス事業者/袋井市	●	●			検討の結果実施せず	財源の捻出が難しく、実施できていない。
		3-②	バス通学定期券購入費補助制度の導入	・高校生のバス通学定期券購入費の一部を補助	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●			検討の結果実施せず	財源の捻出が難しく、実施できていない。
		3-③	運転免許証返納者割引制度の導入	・高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度	交通事業者/袋井市/警察	●	●			検討の結果実施せず	財源の捻出が難しく、実施できていない。
	4 分かりやすい情報提供	4-①	路線バスの情報化	・バスデータを活用した情報提供 ・袋井駅や主要施設におけるデジタルサイネージ等の設置	バス事業者/袋井市	●	●		・バスロケーションシステムの導入 ・Googleマップ等経路検索サイトへの掲載（継続） ・JR袋井駅改札前へのデジタルサイネージの設置	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
	5 乗継・待合環境改善	5-①	バス停におけるサイクル＆バスライド駐輪場の整備	・基幹バス路線のバス停におけるサイクル＆バスライド駐輪場の整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●		・浅羽支所入口バス停駐輪場に輪留めを設置 ・浅羽図書館駐輪場の利用状況調査 ・沿線の公共施設や商業施設に協力依頼	継続中	段階を踏みながら、事業を進められている。
		5-②	バス停待合環境の改善	・利用者の多いバス停や主要施設のバス停の待合環境整備	バス事業者/袋井市/道路管理者	●	●		・袋井駅南バス停の新設、上屋設置	一部実施	既存のバス停への整備は、財源の捻出が難しく、実施できていない。
	6 UD	6-①	車両のバリアフリー化	・ノンステップバスの導入 ・ユニバーサルデザインタクシーの導入	バス・タクシー事業者/地域公共交通会議/袋井市	●	●		・自主運行バスの車両更新 （手すり+ステップ付き、ハイルーフ仕様）	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
関係者意識のレベルアップ	7 意識変革	7-①	通学を対象とした路線バスの利用促進策の実施	・バスロケーションシステムによるリアルタイム情報提供 ・高校別時刻表の作成等	バス事業者/袋井市/教育機関	●	●		・バスロケーションシステムの導入 ・JR袋井駅改札前へのデジタルサイネージの設置 ・市内高校体験入学でのチラシ配布	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
		7-②	大人のバス乗り方教室の開催	・運転免許証自主返納者等を対象としたバスの乗り方教室の実施	コミュニティセンター/シニアクラブ/交通事業者/袋井市	●	●	●	・シニアクラブ袋井市より市内各団体へ自主運行バスの時刻表、路線図を配付 ・市内イベント出展（バス展示、乗り方チラシ配布） ・今井地区で自主バス乗車体験会実施	一部実施	事業概要とは違う形式ではあるが、目的に沿った事業を進められている。
		7-③	ちびっこバス乗り方教室の開催	・小学生を対象とした楽しく学べるバスの乗り方教室の実施	袋井市/交通事業者/小学校	●		●	・市内小学校へバスの乗り方教室を実施	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
		7-④	公共交通ガイドの作成	・公共交通総合ガイドブックの作成 ・新たな移動手段の分かりやすい乗り方案内の作成	袋井市/交通事業者/地域公共交通会議	●	●		・利用啓発のチラシに乗り方案内を記載	一部実施	総合ガイド作成には至っていない。
	8 人材確保安心確保	8-①	運転士の人材確保	・交通事業者と連携した就労支援	交通事業者/袋井市	●		●	・第二種運転免許取得費用助成制度を導入 ・市内イベント出展（バス展示、運転士参加、ポスター掲示、チラシ配布）、市広報紙・HP等への掲載	継続中	事業概要に沿って個別事業を継続できている。
		8-②	公共交通の安心対策	・感染症拡大防止の取り組みの徹底と啓発活動実施	交通事業者/袋井市	●	●		・市広報誌や社内掲示を実施	済	コロナ禍に実施した。

… 令和6年度に事業を実施した分野